

☆佐藤幸夫単科3講座と3つの大学対策講座とその準備☆

講習の定義とは・・・

夏期: レベルにあった講座を探す & 普段受講できていない講座の穴埋めをする

苦手教科の克服は、講座数を減らし、1学期の復習に徹底する

自分学習(特に1学期などの復習)ができる時間を確保する

冬期: 12月 … 年間の授業は終了していることを前提に、苦手克服と最終補強(補足分野の穴埋め)

01月 … 自分のレベルというより、大学対策を優先!

各教科の先生が作るデータから今年の狙いを当ててもらう

①戦後テーマ史【高頻出!世界戦後史(1945年~2015年)】 必修度 4

第2次世界大戦後の高頻出地域解説(2学期では90分しかない)、高校での未学習の穴埋めとしても重要!

(狙い) 冬からでは間に合わないが、戦後史をすべてやる必要はない!出るとこ取り!

(予習) 『つながる世界史☆現代史の集中講義』(学研)の対応する範囲を熟読すること。

(授業) 100日: 第2次世界大戦と冷戦の構造・紛争

200日: 冷戦の終結と西歐統合(EU)の動き

300日: 朝鮮戦争と中華人民共和国史

400日: ヴェトナム戦争とカンボジア内戦

500日: パレスティナ問題~中東戦争とその他の民族紛争について

(復習) ノート整理・再生 → 『そのまま出る-問-答』(三省堂) → 『オンリーワン(近現代・戦後史)』

(冬期) [難関]大学頻出: 各国別現代史(夏期に扱わなかった国・地域・難関校の傾向に合わせる)

②世界文化史【全時代全地域!後で苦しまないための世界文化史バイブル】 必修度 5

全時代全地域対応・テキスト圧巻(写真&入試問題付き) … 他塾&他講師のテキストにはない!

(狙い) 2学期から自力でコツコツ文化史学習ができるように、夏に入試文化史が何かを知る!

センター満点狙いはこの文化史でセンター文化史を潰せ!

(予習) Ⅲ章を全てコピーし、その空欄補充を埋めてくる(解答を見ながらでもよい)

(授業) テキスト中心講義、“時代別ポイント”+“テーマ文化史”を板書する!

(復習) テキスト整理・空欄補充チェック 冬期は大学対策&総復習に追われるので、2学期中にコツコツやるべし!

③早慶上智世界史【詳説世界史講義のHigh Level版】 必修度 3

詳説世界史講義のHigh Level版(普段の講義で説明していないポイントを解説します)

& 早慶上智を学部別に解析し、各々の学部のポイントや狙いを豊富なデータを使って教えていきます。

加えて … 毎講2問ずつの問題解説は、ただの解説が目的ではなく、早慶上智対策の指針を示すためにやります!

(狙い) 1 学期前半範囲の基礎～標準的な流れに、早慶上智などの難関大学に出題されるべき知識を、

サブノートに追記&板書整理でレベルアップを目指す。自力赤本で対策するより 10 倍早い!

自分に本当にあった大学・学部を見つける! 受かりやすさ・興味・大学の校風なども重要!

残り6カ月の早慶上智世界史の学習方法を分かるように教えていきます。

(予習) テキスト内の板書ノートの空所は入れ、テキスト内の文章を熟読してくる。指示された問題はすべて解説のまで
実施(解答は付けていない)。

(授業) High Level ポイントと頻出テーマ・分野の狙撃板書と大学・学部別の対策の注意点を教えていく!

(復習) 狙撃板書の整理 → テキスト内にある問題の再演習 → 9月以降の学習対策カリキュラム作り

この講座はWJK合否の要となるだろう! 難問用語の本格的な暗記は 1 月の各大学対策講座で間に合う!

④ 古代～近代の地域史【遅れを取り戻す世界史(現役・初学者向き)】 必修度 2

地域・各国史で頻出分野の1学期の復習(1～3講)・2学期の西洋史予習(3～5講)を行う。

(狙い) 1 学期範囲の遅れを取り戻し、2学期範囲のメインを講義にて予習し、不安を取り除く!

(予習) 『決める!センター世界史』(学研)で適する場所を熟読する!

講義の前にある「空欄補充の1問1答」を教科書・用語集を調べながらやる!

(授業) オリエント～イスラム世界・古代地中海世界・英仏関係史(～英仏革命まで)

中国通史(～清朝全盛期)・朝鮮半島史・東南アジア史

18 世紀後半～現在の各国史【独仏近現代史・アメリカ合衆国史・ロシア&ソ連邦史】

(復習) ノート整理 → テキスト内の問題演習 → 市販の1問1答(該当箇所)

⑤ 【センター世界史】 センター重視者は必修度 4

実践的な入試問題解説を中心に、前近代(1 学期範囲)の頻出単元&分野を再確認!

アウトプットが遅れている受験生、自分では問題演習を上手くできないセンター重視の受験生のため!

(狙い) 出題&暗記のポイントを学ぶ! 普段の講義では扱っていない社会経済&遊牧民族&文字・貨幣などの文化テーマを取得する! テキストの補足されている「センター用のまとめ集」が重要!

(予習) テキスト内の問題(10 25 問程度)を解き、回答の根拠(正誤問題なので)を見つけてくる!

(授業) 問題解説、頻出分野・テーマ・用語の板書整理、入試も出題ポイントの解説

(復習) 問題の解き直し、板書ノートの整理、『センター・マーク標準問題集』(代々木ライブラリー)の実践

⑥ 【東大世界史】 東大志願者のみ必修度 5

大学関係なく、単元別に論述方法やポイントを進めていくレギュラーの「論述世界史」と違い、「東大」に特化したテキストと講義スタイルで進めていきます。当てる講座ではなく、世界史 60 点中でどのように高得点を狙うかを伝授していきます

(予習)

(授業)

☆講座の取り方の基本☆

世界史の講座は取りすぎないことが重要です。勝負は12月以降の冬期講習です。沢山の講座を取りたいと思うのなら、そのお金は冬期に回してください!!

夏期は英語を万全にし、現代文を読めるようにし、数学のベースを完成させることに力を注ぎましょう。世界史は、とにかく今まで教わったところまでの復習に全力を注ぎましょう。アウトプット不足は世界史では致命傷です。だから、慌てて先に行っは行きません。この膨大な量を「まず、軽く全体的に」というのであれば、講座を取るのではなく、『決める!センター世界史』などの流れだけが確実にわかるものを熟読することに時間を割くことです。2学期は2学期にしっかりとやります。12月にはそれを復習する時間もあります。決して慌てないでくださいね。

夏期講習中の最大の狙い目は、「戦後史(1945年～の高頻出のみ)」「文化史(西洋&東洋も)」の2つ。共に高校で完成しているという自負がある人は、「詳説世界史」をlevelupする「早慶上智」の講座を取るといいでしょう。

以下の内容が講座を取るときの参考条件です。

- ①センターのみの受験者は1講座
- ②私立受験者・国公立2次世界史受験者は2講座。
- ③世界史で稼ぎたい又は他教科に余裕がある受験者は3講座に挑戦してみる!

- ◎スタンダード的には … 「戦後テーマ史」と「世界文化史」
- ◎早慶上智志望者 … 「早慶上智世界史」 & 「戦後テーマ史」 or(&) 「世界文化史」
- ◎センターのみ(得意) … 「戦後テーマ史」 *「世界文化史」は私大用です
- ◎センターのみ(普通) … 「センター世界史」

*どの講座も必要な講座です。ですので、受講できない場合又は受講しない場合は、その分野・単元や対策などを自分でやらねばなりません。お金か時間かという問題ですが、自分でやるよりは講座を取った方が時間短縮にはなりますね。お金の問題ならば、それは運命と思い、自力でカバーしていきましょう!!

パンフレット詳細(地歴公民)

P.154 ~ P.173

